

第1回宇部市新庁舎ユニバーサルデザイン意見交換会(午後の部)【会議録】

日 時 平成29年12月25日(月) 13:30~15:30

場 所 宇部市役所2階 第1会議室

1 「宇部市新庁舎建設基本設計(素案)」について

2 意見交換 ※以下、要約

1 敷地入口、駐車場、外部、内部誘導・案内について

参加者： 排水溝の蓋やエレベーターの溝等は杖が挟まらないように注意。

参加者： 弱視の人は黄色が認識しやすいため、配慮してほしい。

参加者： 出入口は音声までは不要だが、優しい音で把握できればよい。

参加者： 音は統一せず、入口毎で異なる音であればわかりやすい。

参加者： 足裏の感覚で床の違いがわかるため、建物や広い部屋への入口で床材を変えれば、認識しやすい。

参加者： 建物に入るときや、室に入るときは、高齢者には支障になるかもしれないが床にある程度の敷居があった方が逆にわかりやすくて良い。

設計者： 施工時に感触を確かめてもらう。

参加者： スロープは斜面と平面の色を変えてほしい。

参加者： 駐車場は入口から近くに設けてもらいたい。

参加者： 弱視の人は、床材等が光に反射すると見えづらくなるので気を付けてほしい。

参加者： 床と壁の色は、認識しやすいように区別してもらいたい。

参加者： 触地図は室内、総合案内の近くにあるとわからない時に、すぐ聞けてよい。

参加者： 広場を含めた全体の触地図があるとよい。〇〇広場と言われてもわからない。

参加者： 災害時の情報難民対策をお願いしたい。情報の表示は弱視の人でもわかりやすいようできるだけ大きく。

参加者： 聴覚障害者用に大きな電光掲示板があるとよい。

2 カウンターについて

参加者： 代読、代筆が必要となるため、プライバシーに配慮した窓口配置をしてもらいたい。

参加者： 視覚障害者は並んで待てないため、待合エリアと隣接してもらいたい。

参加者： 税金等で生年月日を伝える事もあるため、障害福祉課以外の窓口もプライバシーに配慮してもらいたい。

参加者： 上手く発声できず、何度も大きな声で伝えなければならない人もいるため、プライバシーに配慮してほしい。

3 エレベーターについて

参加者： エレベーターは到着階数、開閉、上下を音声で案内できるようにしてほしい。また、押した階数を音声で伝える機能はないか。（押し間違いがわかる。）

設計者： メーカーに確認する。

参加者： エレベーターが2台並ぶ場合、ボタンは中央に設け、どちらのエレベーターが来たか音声でわかるようにしてもらいたい。

参加者： タッチパネル式は、押した感触が分からないため、ボタン式がよい。トイレのボタンも同様。

参加者： エレベーターモニターは出来る限り大きくしてもらいたい。

参加者： 階段の踊り場の色を変えるのか。

設計者： 床の色は同じだが、滑り止め部分の色を変えて、段差を識別しやすいようにする。

4 トイレについて

参加者： 水栓金物は各トイレで統一してもらいたい。

参加者： トイレ内の説明があった方がよい。

設計者： 多目的トイレと一般トイレ、どちらを使用するか。

参加者： どちらも使用する。

設計者： 視覚障害者からは、できる限り手が届く範囲にボタンなどがあるとよいという意見を頂き、多目的トイレは広すぎるといった意見もある。

参加者： 音声ボタンを設けてほしい。

参加者： 入ってすぐにベビーベット等に当たる事があるので留意してほしい。

参加者： 一般トイレの入口から便器まで、片側の壁を伝って行けるレイアウトがよい。またトイレレイアウトや、男女の並び順等は統一してもらう方が使いやすい。

参加者： 一般トイレに音声案内がある方がよい。

設計者： トイレの前に触地図があった方がよいか。

参加者： 入口に触地図があるのは良いが、触地図を使うより先に入った方が早い。

参加者： 狭い空間の中で動く方が動きやすいので、広い多目的トイレよりも、一般トイレに視覚障害者向け配慮があると使いやすい。

参加者： 和便器は足がはまる事があるため、洋便器の方がよい。

参加者： トイレのボタンは流すボタンを大きくしてもらいたい。また、トイレによってボタンの位置が変わると迷うので位置を統一してほしい。

5 その他

参加者： 宇部のシンボルとしての新庁舎なので、重厚な建物としてもらいたい。

6 欠席団体からの意見

災害時、市内の透析施設が壊滅状況になった場合の緊急透析が可能な施設の確保、また腹膜透析患者のパック交換ができる無菌室の確保が必要。(1週間透析ができない場合、死亡する確率が高いため)

一時的に薬を提供できる施設が必要。(投薬治療されている方への対応)